

**製品名: RASSF1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87125**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RASSF1
別名	123F2; RDA32; NORE2A; RASSF1A; REH3P21
遺伝子 ID	11186
SwissProt ID	Q9NS23
免疫原	ヒト RASSF1 の合成ペプチド

**背景**

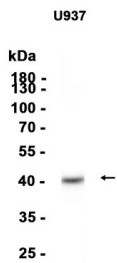
この遺伝子は、RAS エフェクタータンパク質に類似したタンパク質をコードしています。この遺伝子の発現喪失または変化は、様々

な癌の病因と関連しており、この遺伝子が腫瘍抑制機能を持つことを示唆しています。この遺伝子の不活性化は、CpG アイランドプロモーター領域の高メチル化と相関していることが明らかになっています。コードされているタンパク質は、DNA 修復タンパク質 XPA と相互作用することが確認されています。また、このタンパク質はサイクリン D1 の蓄積を阻害し、細胞周期停止を引き起こすことも示されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2011 年 5 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



RASSF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U937 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。